

件名：渋川市南部地域振興に係る事業方針について

1 目的

渋川市の南部地域は、前橋市に隣接しており、前橋圏、高崎圏への通学や通勤等に適した場所に位置しており、近年、商業施設等が多く進出し、市内の主要な商業地区を形成しています。この地域は、生活に便利な条件が整っているため、市内の各地区で人口減少が著しい中、(特に古巻地区は)唯一、人口がほぼ横這いで推移しています。このような状況の下、地域のより一層の発展と市域全体への波及を促進するため、この地域の適正な土地利用、開発誘導を検討し、更なる地域振興、定住人口の増加を図るため、今後、具体的な検討を進めるための基本的な方向性をとりまとめました。

2 内容

南部地域振興の核として、三つの地区を重点整備地区と位置付け、これらを交流軸となる主要な道路等と連携させて、南部地域の活性化を図ります。

また、交流軸により、市内、市外との交流が深まり、より一層の地域活性化を図ります。

■ 重点整備地区

① 渋川・伊香保インターチェンジ地区

関越自動車道は、東京圏から北関東や新潟方面への物流、観光の要で、特に渋川・伊香保インターチェンジは、伊香保温泉をはじめとする群馬県内の観光地を目的とした観光客の利用が多いものと考えられる。

② J R 八木原駅地区

地域人口が横這いで推移する古巻地区において、J R 上越線は、前橋圏、高崎圏へとつながる有効な公共交通機関として、今後更なる活用が期待される。また、J R 八木原駅の利用範囲には、吉岡町北部の生活圏を含むものと考えられ、広域で連携した公共交通機関の活用を図ることが可能である。

③ 行幸田、有馬商業地区

近年、大型商業施設や小売店、飲食店等が多く進出しており、市内でも主要な商業地区を形成している。また、民間診療所の開業やサービス業の出店も多く、周辺には数多くの自然環境が残っているため、利便性の高い居住地区としての環境が整っているものと考えられる。

■ 交流軸

① 県外(東京、新潟方面等)からの玄関口

J R 上越線(J R 八木原駅) 関越自動車道(渋川・伊香保 I . C .) 等

② 南北軸(前橋、高崎、沼田、吾妻等からの接続)

上信自動車道 国道 1 7 号前橋渋川バイパス 国道 1 7 号
県道 2 5 号高崎渋川線バイパス 県道 2 5 号高崎渋川線等

③ 東西軸(南北軸の横の接続)

上信自動車道 県道 2 6 号高崎安中渋川線 南部幹線等

3 整備手法

今後、“長期的な整備”と“短期的な整備”とを整理し、地域の状況や財政状況を踏まえながら、効率的な事業の推進を検討していきます。

4 今後の対応

財政状況等を踏まえ、人口減少対策に寄与し、公共交通機関の充実や広域連携へと事業展開を望むことのできるJ R 八木原駅周辺整備を検討するものとし、今後、具体的な事業化に向けて、関係機関等との連携を図っていきます。